

# 第109回 未来医療セミナー

2020年12月10日(木)18:00-19:00

## 難治性がんに対する “off-the-shelf” T細胞療法の実現

### 安藤 美樹

順天堂大学血液学講座 准教授  
東京大学医科学研究所幹細胞治療部門 非常勤講師



iPSC技術を用いる免疫細胞療法は、従来の免疫細胞療法の弱点を克服しうる。疲弊した抗原特異的細胞傷害性T細胞(CTL)の若返りによる強力な抗腫瘍効果だけでなく、誘導の難しいCTLも、ひとたびiPSCを樹立してストックすれば、そこからいつでも治療用CTLを供給できる。そしてiPSCが遺伝子操作の良好なプラットフォームであることを生かした遺伝子改変T細胞療法、ゲノム編集したユニバーサルCTL療法など、いずれも革新的で新たな可能性に満ちている。

我々は、難治性がんに対し、迅速に十分量の治療用T細胞を投与できる“off-the-shelf”療法の実現を目指している。我々が取り組む、持続可能なT細胞療法の未来形を紹介したい。

#### オンライン開催(事前登録制・参加費無料)

参加申込：下記URLからお申込ください。2020年12月8日(火)締切  
<https://bit.ly/38jQBya>



主催：未来医療交流会

共催：橋渡し研究戦略的推進プログラム  
大阪大学「戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現」

後援：大阪大学医学部附属病院未来医療センター

お問い合わせ

未来医療交流会(未来医療センター内)  
office@ima-mirai.or.jp  
<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>

障がいのある方など、特別な配慮が必要な場合は、事前にご連絡ください。